

一般財団法人 関東電気保安協会による出前授業

令和6年11月29日（金）、本校電気科2年生が（一財）関東電気保安協会による講義と実習に参加しました。

講義「低圧電気の供給形態」では、家庭や事務所で使用している低圧電気について、配線や危険性について学びました。

実習では、実際に絶縁抵抗測定と接地抵抗測定を行わせてもらいました。

絶縁抵抗は、電気を送っているときに漏電する恐れがないか確認するために測定します。丁寧に危険性について教えてくださるだけでなく、和やかな雰囲気ですぐ生徒たちの緊張をほどいてくださりました。

接地抵抗は、人が感電しないように行う接地工事の抵抗値のことです。人体に流れてしまう電流を小さくするためには抵抗値は低い方が良いため、規定の抵抗値以下になるか多くの生徒が測定を体験させてもらいました。

最後の質疑応答では、関東電気保安協会の皆さんから貴重なお話をいただき、電気業界だけでなく、社会や働くことについても学んでいました。

○絶縁抵抗測定



○接地抵抗測定



○接地抵抗測定（測定の実践）



○質疑応答の様子

